

## 移住・定住対策

アナ： 「市長が語る 2017 三島」第 20 回の今日は、「移住・定住対策」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 早速ですが、「移住」と言いますと、将来的な人口減少などを背景に、現在、多くの自治体で取り組んでいるかと思いますが、三島市ではどのような取り組みを行っていますか。

市長： 現在、多くの方に三島に住んでいただけるよう様々な取り組みを行っておりますが、年間を通じて取り組んでいるものとしたしまして、まず、首都圏での「移住セミナーと相談会」の開催が挙げられます。

昨年度も、市の職員が東京都へ出向き、合計 7 回、延べ 10 日間にわたって三島市の PR と移住を希望される方への個別相談を行いました。この相談会には、昨年度だけで 58 組の方に参加していただきましたが、この中で現在までに 5 組 13 名の方が三島市へ実際に移住をされました。

アナ： 昨年、移住相談会に来られた方が、既に三島市に住んでいるということですね。

この東京都で開催しているセミナーでは、どのような PR をされていますか。

市長： ご承知のとおり、三島には新幹線駅があり「品川まで 37 分」という優位性のある立地です。そのため、新幹線通勤が可能な街であり、通勤前の時間帯などで趣味を楽しんでから首都圏へ通勤する“エクストリーム通勤”という生活スタイルを提案する中で、三島は人生そのものを楽しむことができる街であるということをも PR の主眼に置いています。

アナ： 移住となりますと、勤務地の関係から「仕事を変えなければ。」ということが多いと思いますが、お勤め先が首都圏の場合、三島から新幹線通勤をすることも可能かと思うので、その点でも三島市なら「移住」へのハードルが下がりますね。

市長： そうですね。ですから三島の場合は、“移住”という言葉よりも“引っ越し”という言葉の方が合っているのかもしれませんが。

アナ： “引っ越し感覚での移住”ということですね。それでは、実際に三島市へ「引っ越し」、移住された方からはどのような声が聞かれますか。

市長： 実際に移住された方と、私もお話をさせていただいておりますが、三島に移住された理由として多く聞かれるのは、新幹線通勤が可能であること、自然環境、水辺環境が良いこと、そして子育ての制度や環境が整えられていること、更には、交通アクセスが良く自分の趣味活動を楽しめることなどから三島を選んだとの声が多く聞かれます。

また、新幹線通勤を始めた方からは、「それまでの満員電車のストレスから解放された」との感想も聞かれます。

アナ： 確かに、東京などでの通勤事情は精神的にも肉体的にも大変な負担になることだと思います。その部分から解放されたというのは大きいですね。

この首都圏でのPR活動以外に、何か取り組みをされていますか。

市長： 三島への移住を検討されている方を対象に、実際に三島の街を体感していただく「移住体験ツアー」を定期的を実施しております。

この他、移住される場合は、「住まい」を探す必要がある訳ですが、静岡県宅建協会さん、全日本不動産協会静岡県本部さんとそれぞれ協定を締結させていただき、移住を希望される方への不動産情報の提供を行っています。また、移住された方を対象に、住宅取得に対する補助金などのサポートをさせていただいております。

アナ： なるほど。移住に関して様々な取り組みをされているということですが、最後に、今日の放送はお盆の時期ということで、三島への帰省中に、この放送をお聞きになられている方もいると思います。放送をお聞きの皆様に豊岡市長からメッセージをお願いします。

市長： 三島市では、多くの方に三島に住んでいただけるよう全力で様々な取り組みを行っておりますが、私自身、地元出身者の方に戻ってきたいという強い想いがあります。

現在は首都圏で暮らし、毎日満員電車に揺られ、大変な思いで日々のお仕事に励まれている三島出身の方もいらっしゃるかと思います。

特に東京・神奈川にお勤めの方であれば、仕事を変えることなく三島から通勤をすることも可能ではないでしょうか。ぜひ、この機会に「ふるさと三島」に住むことをご自身のこととお考えいただき、子どもたちを恵まれた自然環境の中でのびのびと育て、そして、三島で人生を楽しんでみてはいかがでしょうか。ぜひご検討いただきたいと思います。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。